

令和8年度 総合的な学習の時間全体計画 江戸川区立船堀第二小学校

校長名 則岡 小織

名称: 総合的な学習の時間

学校の教育目標	すすんで学習する子ども 思いやりのある子ども じょうぶな子ども
---------	---------------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

1地域の文化、自然、歴史、産業、人などを知り、地域や学校を大切にし、課題を見つけて解決していく力を育てる。
 2自然環境やゴミ・リサイクルの問題を、体験活動を通して主体的に解決する力を育てる。
 3情報機器の基本操作に慣れ、情報を収集し活用する力を育てる。また、著作権や情報モラルを守る態度を育てる。
 4高齢者体験や、福祉施設でのボランティア活動・交流などを通して、コミュニケーション能力を高め、奉仕の精神を
 5世界の文化や生活、地球規模の課題を知り、外国人との交流や体験活動を通して共生社会を築く資質や能力を育てる。
 6学んだことをまとめ、発表し、自己の成長に気づくとともに、自分なりに努力をする意欲と実践力を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
自ら課題を見つけ、情報を収集し、楽しみながら解決する。	自ら課題を見つけ、情報を分析し、見通しをもってよりよく解決する。
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
主体的な学習を通して、自らのできることを実践し、成長を振りかえようとする。	主体的な学習を通して、自己を振り返るとともに、将来に向けて、希望をもって実践していく。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
地域の人々とのかかわりを通して、地域への愛着をもつ。	地域の人々や社会への理解を深め、愛着を深める。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	地域の特色と産業 身近な自然環境と問題 情報の収集と活用	地域の文化・産業と、それを大切にする人々の努力 身近な環境問題に気づく 情報機器を活用しながら、基本操作に慣れる
第4学年	身近な自然環境と問題 地域の高齢者や、福祉施設で働く人々 国際理解と共生社会	身近な環境問題に対し、自分でできることを実践し保身に努める 奉仕の心で、自分たちでできることを実践する 共生社会へ向けて自分たちができることを実践する
第5学年	身近な自然環境と問題 地域の高齢者や、福祉施設で働く人々 国際理解と共生社会	身近な環境問題に対し、自分でできることを実践し保身に努める 奉仕の心で、自分たちでできることを実践する 共生社会へ向けて自分たちができることを実践する
第6学年	身近な自然環境と問題 地域の高齢者や、福祉施設で働く人々 国際理解と共生社会	身近な環境問題に対し、自分でできることを実践し保身に努める 奉仕の心で、自分たちでできることを実践する 共生社会へ向けて自分たちができることを実践する

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3学年は地域中心の学習 ・4学年は環境中心の学習 ・5学年は社会科の学習や行事との関連を生かした課題を追求する。 ・6学年は異学年との交流や行事の中で、自らの実践課題を追求す	・教科との関連・発展 ・体験や、自らの気付きを大切に する ・友達や地域の人々との交流を重視する ・児童の課題意識を高め、継続させる。	・総合部会での計画の見直し ・各教科領域との関連の重視 ・担任以外の教員による指導 ・地域の人材を活用した、学校応援団 ・地域の物的財産の開発	・ポートフォリオ評価 ・児童による自己評価 ・指導と評価の一体化 ・複数の教員による多面的な評価 ・評価基準の設定と共通理解 ・授業分析による授業改善